

Microsoft System Center  
Operations Manager 2007  
SP1/R2 および System  
Center Essentials 2007 SP1/  
2010 用 Dell Client  
Management Pack  
バージョン 4.1  
ユーザースガイド



## メモおよび注意



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



**注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

---

**本書の内容は予告なく変更されることがあります。**

**© 2011 すべての著作権は Dell Inc. にあります。**

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL™ ロゴ、Latitude™、OpenManage™、Optiplex™、Precision™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft®、Vista®、Windows® および Windows Server® は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。外部のウェブサイトやそのコンテンツについては一切責任を負いません。

# 目次

1	概要	5
	<b>Dell Client Management Pack バージョン 4.1 の新機能</b>	5
	<b>Dell Client Management Pack の主な機能</b>	6
	<b>Dell Management Pack v4.1 について</b>	6
	Dell Management Pack によってモデル化された コンポーネントの詳細	7
	<b>サポートされている Dell クライアントシステム</b>	8
	<b>対応オペレーティングシステム</b>	8
	管理ステーション	8
	管理下ノード	9
2	Dell Client Management Pack の操作	11
	<b>概要</b>	11
	<b>ウェブコンソール</b>	12
	<b>検出およびグループ化</b>	12
	Dell クライアントの検出	12
	Dell ハードウェアの検出とグループ化	14
	Dell Client Management Pack によって検出された オブジェクト	14
	<b>監視</b>	15
	正常性状態インジケータ	15
	警告ビュー	16
	ダイアグラムビュー	16
	Dell Client Hardware Health ロールアップの表示	19
	状態ビュー	19
	<b>タスク</b>	20
	クライアントの再起動とシャットダウン	20
	Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動	20
	<b>レポート</b>	21
	OpenManage Windows イベントログ	21

	<b>Dell Client System Management Pack のカスタマイズ</b> . . . . .	<b>22</b>
	ユニットモニター . . . . .	22
	オブジェクト検出 . . . . .	24
	ルール . . . . .	25
	OMCI . . . . .	25
<b>3</b>	<b>関連文書およびリソース</b> . . . . .	<b>27</b>
	<b>Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと</b> <b>拡張性に関する Microsoft ガイドライン</b> . . . . .	<b>27</b>
	<b>その他の必要マニュアル</b> . . . . .	<b>27</b>
	<b>テクニカルサポートの利用法</b> . . . . .	<b>28</b>
<b>4</b>	<b>付録</b> . . . . .	<b>29</b>
	<b>問題とその解決</b> . . . . .	<b>29</b>

## 概要

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 と Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) 2007 SP1/R2、および System Center Essentials (SCE) 2007 SP1/2010 環境によって、ユーザーは Dell クライアントシステムの稼動状態の管理、監視および確認を行うことができます。

 **注意**：データ損失および破損を防ぐため、この文書の手順を実行する前に製品を使用する知識と経験があることを確認してください。

 **メモ**：自己解凍実行 `Dell_Client_Management_Pack_v4.1_A00.exe` ファイルに含まれる `readme` ファイルには、ソフトウェアおよび管理ステーションの要件に関する最新情報および既知の問題に関する情報が含まれています。`readme` ファイルは、[support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) に掲載されています。

## Dell Client Management Pack バージョン 4.1 の新機能

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 は以下に対応しています。

- 最新プラットフォームおよび最新の OMCI バージョン
- 工場出荷日の対応
- バッテリーパーツ番号の対応
- クライアントシステムに対するリモートデスクトップの起動。詳細については、[Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動](#)を参照してください。
- Windows Computer Health にロールアップされた Dell Client Hardware Health の表示。詳細については、[Dell Client Hardware Health ロールアップの表示](#)を参照してください。

# Dell Client Management Pack の主な機能

表 1-1 Dell Client Management Pack バージョン 4.1 の主な機能と機能性を記載します。

表 1-1. 機能と機能性

機能	機能性
検出	サポートされている Windows オペレーティングシステムを実行する Dell Latitude、Precision、Optiplex クライアントシステムのインバンド検出に対応します。  Dell Vostro クライアントシステム、OMCI サービスがないクライアントシステム、7.8 より古い OMCI バージョンおよび OMCI が停止または無効化されたクライアントシステムを <b>非管理</b> グループの下にグループ化します。
監視	Dell クライアントシステムの正常性監視およびクライアントシステムにおけるメモリ、プロセッサ、OMCI サービス、センサーおよびストレージのインスタンスレベルの健全性情報に対応します。
Remote Desktop リモートデスクトップの起動	SCOM/ SCE コンソールを通した Dell クライアントシステムのリモートデスクトップ起動に対応します。
クライアントのシャットダウンおよび再起動	SCOM コンソールを通した Dell クライアントシステムのシャットダウンおよび再起動タスクに対応します。

## Dell Client Management Pack v4.1 について

次の表 1-2 では、管理パックとユーティリティ、およびそれらの相互依存性について説明します。

表 1-2. 管理パックの機能性と依存性

管理パック / ユーティリティ	説明	依存関係
ベースフォルダユーティリティ	操作コンソールの監視ペインで Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義するための管理パックです。	なし

表 1-2. 管理パックの機能性と依存性

管理パック / ユーティリティ	説明	依存関係
Dell Windows Client Management Pack 4.1	サポートされている Dell クラ イアントシステムおよびそのコンポーネントの検出、監視およびアラート管理のための管理パックです。	Base Folder Utility 4.0

### Dell Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 には、Dell Windows Client Management Pack が含まれます。

表 1-3 に管理パックの詳細とモデル化されたコンポーネントを記載します。

表 1-3. 管理パックの詳細およびモデル化されたコンポーネント

管理パック	コンポーネント詳細
Dell Windows Client Management Pack	<p>この管理パックは、Dell クライアントシステムのすべてのハードウェアコンポーネントを表示し、コンポーネントグループレベルまでの監視を行います。</p> <p>Client Diagram ビューには、次の各コンポーネントの正常性を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• メモリ</li><li>• OMCI Service</li><li>• プロセッサ</li><li>• センサー</li><li>• ストレージ</li></ul>

## サポートされている Dell クライアントシステム

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 は以下の Dell クライアントシステムに対応しています。

- Dell OptiPlex
- Dell Precision
- Dell Latitude
- サポートされているクライアント Windows オペレーティングシステムが実行される Dell Vostro システム。



**メモ** : Dell Vostro システムは **非管理** グループに分類されます。

## 対応オペレーティングシステム

### 管理ステーション

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 は以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows Server 2003 SP2、Standard x86 Edition
- Windows Server 2003 SP2、Standard x64 Edition
- Windows Server 2003 SP2、Standard x86 Edition
- Windows Server 2003 SP2、Standard x64 Edition
- Windows Server 2003 SP2、Datacenter x86 Edition
- Windows Server 2003 SP2、Datacenter x64 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Standard x86 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Standard x64 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Enterprise x86 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Enterprise x64 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Datacenter x86 Edition
- Windows Server 2003 R2 SP2、Datacenter x64 Edition
- Windows Server 2008 Standard x86 Edition
- Windows Server 2008 Standard x64 Edition
- Windows Server 2008、Enterprise x86 Edition
- Windows Server 2008、Enterprise x64 Edition
- Windows Server 2008、Datacenter x86 Edition
- Windows Server 2008、Datacenter x64 Edition
- Windows Server 2008 R2 SP1

- Windows Server 2008 SP2、Standard x86 Edition
- Windows Server 2008 SP2、Standard x64 Edition
- Windows Server 2008 SP2、Enterprise x86 Edition
- Windows Server 2008 SP2、Enterprise x64 Edition
- Windows Server 2008 SP2、Datacenter x86 Edition
- Windows Server 2008 SP2、Datacenter x64 Edition
- Windows Server 2008 R2、Standard x64 Edition
- Windows Server 2008 R2、Enterprise x64 Edition
- Windows Server 2008 R2、Datacenter x64 Edition

### 管理下ノード

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 は以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows XP Professional SP2
- Windows XP Professional x64 Edition with SP2
- Windows XP Professional x86 (32 ビット) Edition with SP3
- Windows XP Professional x64 (64 ビット) Edition with SP3
- Windows Vista Ultimate SP1
- Windows Vista Ultimate SP1 x64 Edition
- Windows Vista Business SP1
- Windows Vista Business SP1 x64 Edition
- Windows Vista Enterprise SP1
- Windows Vista Enterprise SP1 x64 Edition
- Windows XP Tablet PC Edition
- Windows 7 Professional x86 (32 ビット) Edition
- Windows 7 Professional x64 (64 ビット) Edition
- Windows 7 Ultimate x86 (32 ビット) Edition
- Windows 7 Ultimate x64 (64 ビット) Edition



# Dell Client Management Pack の操作

## 概要

この章では、Dell Client Management Pack バージョン 4.1 を使用して Microsoft Systems Center Operations Manager (SCOM) または Systems Center Essentials (SCE) で実行できるさまざまな操作について説明します。

Client Management Pack を使用すると、以下の操作を実行して Dell クライアントシステムを管理できます。

- サポートされているクライアント Windows オペレーティングシステムを実行する Dell Latitude、Precision、Optiplex および Dell Vostro ビジネスコンピュータの検出。
  - **メモ** : Dell Vostro システムは **非管理** グループ下に表示されます。
    - Dell OpenManage Client Instrumentation (OMCI) 7.8 サービス、OMCI 8.0 および OMCI 8.0.1 の監視
- Instrumentation がない Dell クライアントや OMCI サービスなしで実行されるクライアントシステムを **非管理** グループとしてグループ化。
- 定期的なポーリングでクライアントハードウェアコンポーネントの正常性をチェックし、ダイアグラムビュー内の各コンポーネントの状態を更新。  
正常性とは、コンポーネント、システム、またはサービスの機能的な性能を標準化した記述です。詳細については、[タスク](#)を参照してください。
- クライアントのシャットダウンと再起動タスクの実行。
- Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動。
- Dell Windows イベントログと管理下システムの Windows イベントログから OMCI イベントのレポートを生成。

## ウェブコンソール

ウェブコンソールを使用すると、**Operations Manager 2007** コンソールの代わりに、ブラウザを使用して **Dell Client Management Pack** で **Dell** デバイスの監視と管理ができます。操作コンソールをインストールせずに、ウェブコンソールを使用できます。ウェブコンソールには次の使用制限があります。

- すべての管理パックの **監視** 機能しかない。
- コンソール起動タスクを使用できない。
- **個人** ビューを使用できない。
- **警告** ビューに表示される警告は最初の **200** 個のみ。

## 検出およびグループ化

### Dell クライアントの検出

ネットワーク上の **Dell** クライアントシステムを検出するには、**SCOM 操作コンソール** の **管理** セクションにある **エージェント管理** ビューにデバイスが表示されることを確認してください。オーバーライドを使用して、特定の **Dell** ハードウェアの検出や監視の間隔を増減すると、実装のニーズを満たすことができます。



**メモ**：クライアント検出プロセスは、次の 3 つの条件のいずれかを満たすシステムを **非管理** として分類します。

- OMCI の必要なバージョンがクライアントボックスにインストールされていない
- OMCI サービスが無効化されているか、実行されていない
- クライアントシステムが **Dell Vostro** システムである

**エージェント管理** リストに **Dell Client** システムを追加するには、次の手順を実行します。

- 1 **SCOM** または **SCE** 管理グループの **SCOM** システム管理者の役割が与えられたアカウントでシステムにログインします。
- 2 **操作コンソール** で **Administration**（管理）をクリックします。
- 3 **Administration**（管理）で右クリックし、ポップアップメニューで **Discover Computers**（コンピュータの検出）を選択します。  
**Computer and Device Management Wizard**（コンピュータおよびデバイス管理ウィザード）画面が表示されます。
- 4 **Computer and Device Management**（コンピュータおよびデバイス管理）画面上の指示を読んでから **Next**（次へ）をクリックします。

- 5 Dell クライアントシステムを検出するには、**Advanced discovery**（詳細検出）を選択します。
  - a **Computer and Device Classes**（コンピュータおよびデバイスクラス）ドロップダウンリストで **Clients Only**（クライアントのみ）を選択します。
  - b **Next**（次へ）をクリックします。  
**Discovery Method**（検出方法）画面が表示されます。
- 6 **Discovery Method**（検出方法）画面で以下の 2 つのオプションの 1 つを選択します。
  - a **Scan Active Directory**（アクティブディレクトリのスキャン）：このオプションを使用すると、**Active Directory** から選択したオブジェクトを指定できます。
    - i.**Configure**（設定）をクリックして、スキャンするオブジェクトを見つけるためのクエリを作成します。
    - ii. **Domain**（ドメイン）ドロップダウンリストから、検出するオブジェクトがあるドメインを選択します。
  - b **Browse for, or type-in computer names**（コンピュータ名を参照または入力する）：このオプションを使用すると、検出したい Dell クライアントシステムの名前を参照するか入力できます。  
**Browse**（参照）をクリックしてネットワーク上でシステムを検索するか、検出したいシステムの名前を入力します。
- 7 **Next**（次へ）をクリックします。**Administrator Account**（システム管理者アカウント）ページが表示されます。
- 8 次の 2 つのオプションのどちらかを使用して、スキャンするコンピュータやデバイスにシステム管理者権限を持つユーザーアカウントを指定します。
  - a **Use selected Management Server Action Account**（選択した管理サーバーアクションアカウントを使用する）：このオプションは、既存の管理サーバーアクションアカウントをシステム管理者アカウントとして使用できることを示します。
  - b **Other user account**（他のユーザーアカウント）：このオプションは、既存の管理サーバーアクションアカウント以外の任意のアカウントを指定できることを示します。アカウントの **ユーザー名**、**パスワード**、**ドメイン** を指定します。  
**This is a local computer account, not a domain account**（ドメインアカウントではなくローカルアカウント）を選択した場合は、ドメイン名の代わりに **コンピュータ名** を指定してください。

- 9 **Discover**（検出）をクリックします。**Select Objects to Manage**（管理対象の選択）ページに選択した Dell Client システムのリストが表示されます。
- 10 管理したい Dell Client システムを選択して **Next**（次へ）をクリックします。
- 11 **概要** 画面で、**Agent Installation Directory**（エージェントインストールディレクトリ）のパスを指定し、**Agent Action Account**（エージェントアクションアカウント）の資格情報を入力して、**Finish**（終了）をクリックします。

## Dell ハードウェアの検出とグループ化

表 2-4 に、Dell Client Management Pack によるハードウェアの検出およびグループ化の詳細を表示します。

表 2-4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

分類	SCOM コンソールでのグループ名	ハードウェアタイプ
Dell Windows	Dell 管理下	Dell クライアントシステム： <ul style="list-style-type: none"> <li>• Dell Latitude</li> <li>• Dell Precision</li> <li>• Dell OptiPlex</li> </ul>
	Dell 非管理下	Vostro ビジネスクライアントシステム

## Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクト

表 2-5 は、Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクトの詳細を示します。

表 2-5. Dell オブジェクトの検出

検出オブジェクト	説明
Dell 管理下クライアントグループ群の検出	Dell 管理下グループと共に Dell ビジネスクライアントが対応するすべてのモデルを検出します。
Dell クライアントの検出	サポートされている Dell Product Instrumentation を備える Dell ビジネスクライアントが対応するすべてのモデルを検出します。
Dell のハードウェアコンポーネントの検出	プロセッサ、メモリ、センサーおよびストレージを含むすべての Dell クライアントコンポーネントを検出します。

表 2-5. Dell オブジェクトの検出

検出オブジェクト	説明
サービスの検出	Dell OpenManage Client Instrumentation Service を検出します。
Dell ハードウェアグループ群の検出	Dell ハードウェアグループおよび Dell クライアントグループを検出します。
非管理下クライアントグループ群の検出	Dell Instrumentation がない、または必要な Instrumentation より古いバージョンの Instrumentation であるもの、あるいは OMCI サービスが無効化または停止しているか、いずれかにより、Dell ビジネスクライアントが監視されていない、Dell 非管理下グループを検出します。
Dell クライアントグループ群の検出	管理下および非管理下クライアントグループの Dell クライアントグループを検出します。

## 監視

Dell Client Management Pack v4.1 によって、検出された Dell クライアントシステムの監視ができるようになります。正常性状態インジケータは、ネットワーク上の Dell クライアントシステムの正常性監視に役立ちます。

以下のビューを用いて、Dell クライアントシステムを監視できます。

- [警告ビュー](#)
- [ダイアグラムビュー](#)
- [状態ビュー](#)

### 正常性状態インジケータ

表 2-6 は、操作コンソールにおいて検出された Dell クライアントシステムの正常性状態を示すアイコンを表示しています。重要度の伝播についての詳細は [状態ビュー](#) を参照してください。

表 2-6. 重要度のインジケータ

アイコン	重要度
	<b>正常 / OK。</b> コンポーネントは予想どおりに動作しています。
	<b>警告 / 非重要。</b> プロブまたはその他の監視デバイスによって、許容範囲外のコンポーネントの読み取り値が検知されました。そのコンポーネントは現在のところまだ機能しているようでも、そのうち故障する可能性があります。また、損なわれた状態で機能している可能性もあります。

表 2-6. 重要度のインジケータ (続き)

アイコン	重要度
	<b>重大 / 失敗 / エラー。</b> コンポーネントが故障しているか、故障が切迫しています。このコンポーネントを直ちに検査して、必要なら交換してください。データが消失した可能性もあります。
	特定のコンポーネントが監視されていません。
	サービスを利用できません。

## 警告ビュー

**Alerts View** (警告ビュー) には、監視しているシステムで実行中の OMCI サービスから受信するイベントの警告が表示されます。監視しているシステムに対する警告を表示するには、次の手順を実行します。

- 1 **操作コンソール**で **Monitoring** (監視) をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **Alerts View** (警告ビュー) → **Client Alerts** (クライアント警告) の順にクリックします。

操作コンソールの **Client Alerts** (クライアント警告) ペインに、監視しているすべての Dell クライアントシステムに対する警告が表示されます。重大度、解決状況、担当する警告など、**SCOM** 操作コンソールの

**Authoring** (オーサリング) ペインで指定した条件を満たす警告を表示できます。

- 4 **Alert Details** (警告の詳細) ペインで、詳細を表示する警告を選択します。

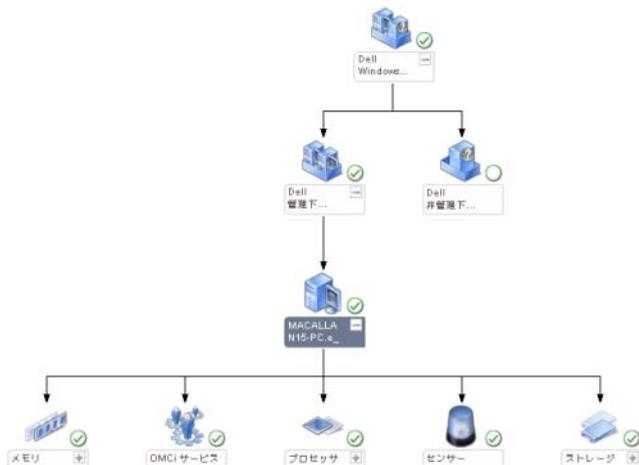
## ダイアグラムビュー

**Diagram View** (ダイアグラムビュー) には、**SCOM** または **SCE** が管理するネットワーク上のすべてのクライアントの階層図とアイコンが表示されます。**Dell Windows** クライアント管理パックは、以下のビューを提供しています。

- クライアントダイアグラム
- 完全ダイアグラムビュー

## クライアントダイアグラム

図 2-1. SCOM で管理されている Dell クライアントシステムのアイコン

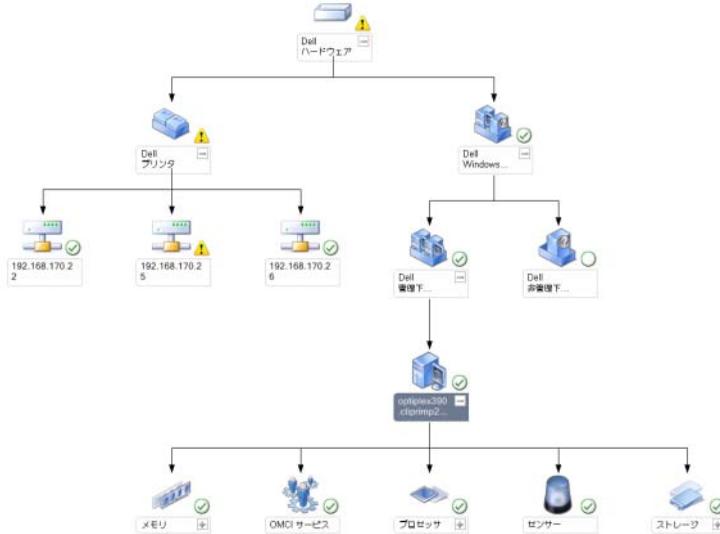


クライアントダイアグラムにアクセスするには、

- 1 **操作コンソール** で **Monitoring** (監視) をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **Diagram View** (ダイアグラムビュー) → **Client Diagram** (クライアントダイアグラム) の順にクリックします。  
**Client Diagram** (クライアントダイアグラム) ビューには、SCOM または SCE が管理するすべての Dell クライアントシステムのアイコンが表示され、展開すると各システムとそのコンポーネントの状態を確認できます。このビューのルートノードは、**Dell Windows クライアント** グループです。このビューには **Dell クライアント** の詳細を表示できます。
- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。OMCI サービスの詳細と Dell クライアントのハードウェアコンポーネント詳細を表示できます。
  - メモリ
  - プロセッサ
  - センサー
  - ストレージ

## 完全ダイアグラムビュー

図 2-2. すべての Dell デバイスの図形表現



完全なダイアグラムビュー にアクセスするには、

- 1 操作コンソール で **Monitoring** (監視) をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **Diagram View** (ダイアグラムビュー) → **Complete Diagram View** (完全なダイアグラムビュー) の順にクリックします。

**Complete Diagram View** (完全ダイアグラムビュー) には、SCOM 2007 SP1/R2 または SCE 2007 SP1/SCE 2010 が管理するすべての Dell デバイスのアイコンが表示され、ダイアグラム内の個々のデバイスとそのコンポーネントを展開して、その状態を確認できます。

**Complete Diagram View** (完全ダイアグラムビュー) では、**Dell クライアント** と **Dell 非管理** の詳細を表示できます。

- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示するダイアグラム内のコンポーネントを選択します。

## Dell Client Hardware Health ロールアップの表示

Dell Client Hardware Health を Windows Computer Health にロールアップして表示できます。Dell Client Hardware Health ロールアップを表示するには、次の手順を実行します。

- 1 操作コンソールで、**My Workspace** をクリックします。
- 2 選択した **Favorite Views** (お気に入りビュー) で右クリックし、ポップアップメニューから、**New** (新規) → **Diagram View** (ダイアグラムビュー) の順に選択します。

**Create Diagram View** (ダイアグラムビューを作成) ウィンドウが表示されます。

- 3 **Create Diagram View** (ダイアグラムビューを作成) ウィンドウで、次を実行します。
  - a **Name** (名前) テキストボックスで希望の名前を入力します
  - b **Description** (説明) テキストエリアに、望ましい説明を入力します
  - c **Choose Target** (ターゲットを選択) セクションで **Browse...** (参照 ...) をクリックします  
**Select Object** (オブジェクトを選択) ウィンドウが表示されます。
  - d **Select Object** (オブジェクトを選択) ウィンドウで **All Windows Computer** (すべての Windows コンピュータ) を選択し、**OK** をクリックします。
  - e **Choose from a template** (テンプレートから選択) セクションで、ドロップダウンリストから **Client Diagram** (クライアントダイアグラム) を選択します
  - f **Create** (作成) をクリックします。

## 状態ビュー

状態ビューには、ネットワーク上で SCOM または SCE で管理されている各 Dell デバイスの状態が表示されます。Dell クライアント管理パックは、ネットワーク上の Dell クライアントシステムのデバイスの正常性を監視する際に役立つ重大度インジケータのリストを提供しています。

状態ビューにアクセスするには

- 1 操作コンソールで **Monitoring** (監視) をクリックします。
- 2 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
- 3 **State Views** (状態ビュー) → **Clients** (クライアント) の順でクリックします。

操作コンソールでは、監視しているすべての Dell クライアントシステムの状態が右ペインに表示されます。

- 4 **詳細ビュー** ペインで詳細を表示する状態を選択します。

## タスク

タスクは、操作コンソールの **処置 / タスク** ペインから実行できます。ダイアグラムビューまたは状態ビューでクライアントシステムを選択した場合、関連タスクは **処置 / タスク** ペインに表示されます。

### クライアントの再起動とシャットダウン

クライアントを再起動またはシャットダウンするには、次の手順を実行します。

- 1 **操作コンソール** で、状態ビュー または **ダイアグラムビュー** に移動します。
- 2 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
- 3 **Actions** (処置) ペインで、クライアントの **Reboot** (再起動) または **Client Shutdown** (クライアントのシャットダウン) をクリックします。  
**Run Tasks** (タスクの実行) ダイアログが開きます。**Run** (実行) をクリックします。

### Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動

クライアントシステムのリモートデスクトップを起動することができます。リモートデスクトップを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 **操作コンソール** で、**ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のどちらかに移動します。
- 2 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
- 3 **Actions** (処置) ペインの **Dell Client Instance Tasks** (Dell クライアントインスタンスタスク) 下にある **Launch Remote Desktop** (Remote Desktop の起動) をクリックします。

クライアントシステム用リモートデスクトップが起動し、システムで各種のタスクを実行できます。

# レポート

Dell Client Management Pack バージョン 4.1 では、レポート機能が提供されています。イベント分析レポートには、選択した **Dell Windows** クライアントシステムにおける **OMCI** イベントのイベント日時、ログレコード、状態（重大度）が表示されます。

レポート機能にアクセスするには

- 1 **操作コンソール** で **Reporting**（レポート）をクリックします。
- 2 ナビゲーションペインの **Reporting**（レポート）を展開します。
- 3 **Windows** イベントログ用 **Dell Client**（Dell クライアント）をクリックします。

クライアントインスタンスをクリックすると、**ダイアグラムビュー** から **レポート** 機能にアクセスできます。**Dell レポート** のオプションは、Dell システムインスタンスの **Actions**（処置）ペインにデフォルトの **Microsoft** レポートと一緒に表示されます。

## OpenManage Windows イベントログ

- 1 **OpenManage Windows イベントログ** をクリックします。
- 2 **処置** ペインで **Open**（開く）をクリックします。
- 3 レポートを生成する期間を選択します。
- 4 **Add Object**（オブジェクトの追加）または **Add Group**（グループの追加）をクリックします。
- 5 オブジェクトまたはグループを検索するには、**Search**（検索）をクリックします。1 つまたは複数のオブジェクトを追加するには、**Add**（追加）を選択します。  
選択したオブジェクトペインにそのオブジェクトが表示されます。
- 6 レポートを生成するイベントの重大度を選択します。
- 7 **Run**（実行）をクリックして、**Windows** イベントログレポートを生成します。

# Dell Client System Management Pack のカスタマイズ

Dell クライアント管理パックを使用すると、Dell クライアントシステムに対して以下ができるようになります。

- 検出のカスタマイズ
- モニタ
- イベント処理の管理
- オーバライドを使用しての、SCOM または SCE オペレータの特定の Dell ハードウェア管理ニーズに合わせた間隔の増減

Dell クライアント管理パックの以下のコンポーネントをカスタマイズできます。

- **Monitors** (監視)：監視しているオブジェクトで発生するさまざまな状況进行评估します。この評価により、ターゲットの正常性と生成される警告が決定されます。
- **Object Discoveries** (オブジェクトの検出)：ネットワークで監視が必要なオブジェクトを見つけます。
- **Rules** (ルール)：管理下オブジェクトによって生成されるイベントなどのデータを収集します。

## ユニットモニター

オーバライドを使用すると、Dell クライアント管理パックユニットモニターの以下のパラメータをカスタマイズできます。

- **Enabled** (有効)：モニターを有効または無効にできます。オーバライド設定を **True** (正) または **False** (誤) に設定できます。デフォルト設定は **True** (正) です。
- **Interval in Seconds** (秒数間隔)：Dell 管理パックがコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスからポーリングする頻度 (秒数)。デフォルトは **3600 秒 (60 分)** です。

ユニットモニターは、**IntervalSeconds** (秒数間隔) で設定する定期的なポーリングによってトリガーできます。

表 2-7 に、各種 Dell ユニットモニターおよびユーザーの Dell クライアントシステムに対応するパラメータを表示します。

表 2-7. Dell Client Management Pack の Dell ユニットモニター

グループ	ユニットモニター名	デフォルトの定期ポーリング設定
OMCI サービスインスタンス	定期	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのメモリグループ	定期	3600 秒 (60 分)
メモリユニットインスタンス	定期	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのプロセッサグループ	定期	3600 秒 (60 分)
プロセッサユニットのインスタンス	定期	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのセンサー		3600 秒 (60 分)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• バッテリー</li> <li>• ファン</li> <li>• イントルージョン</li> <li>• 温度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期</li> <li>定期</li> <li>定期</li> <li>定期</li> </ul>	
Dell クライアントのストレージグループ	定期	3600 秒 (60 分)
ディスクユニットインスタンス	定期	3600 秒 (60 分)



**メモ:** シャーシドアが取外されたり閉鎖された場合、OMCI は シャーシイントルージョン イベントを生成します。シャーシイントルージョン イベントの有効化、無効化および消去についての詳細に関しては、それぞれの Dell クライアントハードウェアマニュアルのセキュリティ機能を参照してください。

## オブジェクト検出

オーバーライドを使用すると、以下の Dell クライアント管理パックの検出パラメータをカスタマイズできます。

- **Enabled** (有効) : 検出を有効または無効にできます。オーバーライド設定を **True** (正) または **False** (誤) に設定できます。デフォルト設定は **True** (正) です。
- **Interval in Seconds** (秒数間隔) : Dell 管理パックが Dell クライアントシステムのコンポーネント インスタンスおよびその属性を検出する頻度 (秒数)。この属性のデフォルト値は、**86400** 秒 (24 時間) です。

表 2-8. Dell 検出オブジェクト

検出オブジェクト	説明	グループ
<b>Dell クライアントシステムのハードウェアコンポーネントの検出</b>	システムのディスク、メモリ、センサー、プロセッサの検出	<ul style="list-style-type: none"><li>• Dell クライアント</li><li>• Dell クライアントインスタンス</li><li>• Dell クライアントのハードウェアコンポーネント</li><li>• Dell クライアントのストレージグループ</li><li>• ディスクユニットインスタンス</li><li>• Dell クライアントのメモリグループ</li><li>• メモリユニット インスタンス</li><li>• Dell クライアントのプロセッサグループ</li><li>• プロセッサユニットインスタンス</li><li>• Dell クライアントのセンサグループ</li></ul>
<b>OMCI サービスの検出</b>	OMCI の検出	<ul style="list-style-type: none"><li>• Dell クライアント</li><li>• Dell クライアントインスタンス</li><li>• Dell クライアントのサービス</li><li>• OMCI サービスインスタンス</li></ul>

## ルール

### Dell システムイベント処理のルール

Dell Client Management Pack は OMCI からのルールを処理します。ルールのオーバーライドパラメータを設定して、ルールをカスタマイズできます。

ルールをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1 **操作コンソール** で **Authoring** (オーサリング) タブをクリックします。
- 2 **Authoring** (オーサリング) ペインで **管理パック** の **Rules** (ルール) を選択します。
- 3 **Rules** (ルール) ペインで、**Dell Client instance** (Dell クライアントインスタンス) を選択し、ルールを選択します。
- 4 ルールを右クリックし、**Overrides** (オーバーライド) オプションを選択します。
- 5 **Disable the Rule** (ルールを無効にする) とサブオプションをどれか選択して、ルールを無効にします。
- 6 **Override the Rule** (ルールのオーバーライド) とサブオプションを選択し、使用するオーバーライドパラメータを設定します。  
ルールの **重大度** を変更することもできます。
- 7 **OK** をクリックしてオーバーライドパラメータをルールに適用するか、**Cancel** (キャンセル) をクリックして変更をキャンセルします。

### OMCI

OMCI の警告と重大イベントには、それぞれに関連付けられたイベント処理ルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "OMCI"
- イベント ID = OMCI イベントの実際のイベント ID
- 重大度 = OMCI 重大度 5 以上は Dell Management Pack 重大度が「重要」にマップされ、OMCI 重大度 4 以下は Dell Management Pack 重大度が「警告」にマップされます。
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ



## 関連文書およびリソース

この章では、Dell Client Management Pack バージョン 4.1 の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

### Operations Manager 2007 SP1/R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Dell 管理パックを展開します。

拡張性に関する Microsoft の推奨については、Microsoft のウェブサイト [support.microsoft.com/kb/975057](http://support.microsoft.com/kb/975057) を参照してください。



**メモ:** パフォーマンス向上のため、**Autogrow Option** (オートグローブオプション) が Operations Manager Database で有効化されていることを確認してください。

### その他の必要マニュアル

この『ユーザーズガイド』以外にも、デルサポートサイト [support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) から次のガイドを入手できます。マニュアルページで、**Software** (ソフトウェア) → **Systems Management** (システム管理) クリックします。右側の適切な製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスしてください。

- 『Dell OpenManag Client Instrumentation ユーザーズガイド』は、Dell OpenManage Client Instrumentation ソフトウェアを使用して、リモート管理アプリケーションプログラムからクライアントシステムの情報にアクセスする方法や、クライアントシステムの状況を監視または変更する方法を説明しています。
- 『Dell Client Configuration Toolkit ユーザーズガイド』は、クライアント設定ツールキット (CCTK) をインストールおよび使用して Dell クライアントコンピュータプラットフォームにさまざまな BIOS 機能を設定する方法について説明しています。
- 『ハードウェアオーナーズマニュアル』は、システム、システムコンポーネントのインストール、システムのトラブルシューティングに関する情報を記載しています。

## テクニカルサポートの利用法

本書に記載した手順に不明な点がある場合や、お使いの製品が予想どおりに動作しない場合は、さまざまなヘルプを利用できます。詳細については、ご利用システムの『ハードウェアオーナーズマニュアル』の「困ったときは」を参照してください。

また、Dell Enterprise Training and Certification もご利用いただけます。詳細については、[dell.com/training](https://dell.com/training) をご覧ください。地域によって、このサービスをご利用いただけない場合もあります。

# 付録

## 問題とその解決

次の表では、既知の問題、解決法、および問題の対象となるアプリケーションを一覧表示します。

表 A-1. 問題とその解決

問題	解決	該当アプリケーション
Dell の警告が時刻順に表示されない。	<p>この問題が発生している管理下システムのレジストリを確認します。ソートフラグが「false」に設定されたままのビュー定義が残っている可能性があります。ソートフラグに変更が加えられている管理パックをインポートすると、ソートフラグがレジストリ内で更新されない場合があります。ビューの設定をレジストリから削除すると、同じビューに再びアクセスしたときに、新しい管理パックが再作成されます。レジストリでそのビューのソートフラグを編集することも可能です。</p> <p>レジストリの編集</p> <pre>HKEY_CURRENT_USER\Software \Microsoft\Microsoft Operations Manager\3.0\Console\%GUID.V iewTitle\AlertsView\Age</pre> <p>警告のソートを有効にするには、<b>IsSortable</b> と <b>IsSorted</b> のキーを「1」に設定します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1
特定の状況下で、ハンドル数しきい値 およびプライベートバイトしきい値 が管理サーバーの操作コンソールに表示される場合がある。	<p><b>support.microsoft.com</b> で参照できる Microsoft <b>KB968760</b> がこの問題を解決します。</p>	SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1

表 A-1. 問題とその解決 (続き)

問題	解決	該当アプリケーション
<p>特定の状況下で、イベント ID が <b>623</b> でイベントソースが <b>Health Service ESE Store</b> のエラーメッセージが管理サーバーの操作コンソールに表示される場合がある。</p>	<p><b>support.microsoft.com</b> にある Microsoft <b>KB975057</b> がこの問題を解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>System Center Operations Manager 2007 コンソールが特定のオペレーティングシステム上でクラッシュすることがある。</p>	<p><b>support.microsoft.com</b> で参照できる Microsoft <b>KB951327</b>、<b>KB951526</b> がこの問題を解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>次のような問題が発生する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ウェブコンソールが開かない。</li> <li>• マイワークスペースページが表示されない。</li> <li>• パフォーマンスビューおよび電源監視ビューが表示されない。</li> <li>• 正常性サービスがシステム上で起動しない場合がある。</li> </ul>	<p><b>support.microsoft.com</b> で参照できる Microsoft <b>KB954049</b> がこの問題を解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>Administration Console のレポートスベースで、レポートが正しく表示されない。</p>	<p><b>support.microsoft.com</b> で参照できる Microsoft <b>KB954643</b> がこの問題を解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>

表 A-1. 問題とその解決 (続き)

問題	解決	該当アプリケーション
<p>正常性サービスがクラッシュしたことが原因で、SCOM コンソールが断続的に「正常性サービスのホストプロセスに問題が発生したため、ウィンドウを閉じる必要があります」というエラーメッセージが表示される。また、Dell デバイスの検出と監視に予期しない動作が見られる場合もある。</p>	<p><b>support.microsoft.com</b> で参照できる Microsoft <b>KB951526</b> がこの問題を解決します。</p>	<p>SCOM 2007 SP1、 SCE 2007 SP1</p>
<p>SCOM コンソールで管理パックを削除してもクライアント警告ビューおよびダイアグラムビューが削除されない。クライアントビューをクリックすると "Object not found" (オブジェクトが見つかりません) のエラーが発生する。</p>	<p>SCOM コンソールを一度閉じてまた開きます。</p>	<p>SCOM 2007 SP1/R2、 SCE 2007 SP1/2010</p>
<p>SCOM ウェブコンソールのダイアグラムビューにあるオブジェクトのツールチップが属性に関する情報を表示しない。</p>	<p>SCOM 操作コンソールに切り替えます</p>	<p>SCOM 2007 SP1/R2 ウェブコンソール</p>
<p>ウェブコンソールの警告ビューに OMCI 警告が表示されない。</p>	<p>SCOM 操作コンソールに切り替えます。</p>	<p>SCOM 2007 SP1 ウェブコンソール</p>

表 A-1. 問題とその解決（続き）

問題	解決	該当アプリケーション
<p>Health Explorer を使用するとき、センサーインスタンス下の Dell クライアント管理パック内の一部のユニットモニターで、サブインスタンスがないのに状態が緑に表示されることがある。</p>	<p>これは、そのインスタンスが存在していて、ユニットモニターが実行されたときに、ユニットモニターに「Unavailable（使用不可能）」の状態を表示できないためです。</p>	<p>SCOM 2007 SP1/R2、 SCE 2007 SP1/2010</p>